

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 How nice! _____

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2				
	2	職員の配置数は適切である		2		人材の確保と定着に、社を上げて取り組んでいるところです。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2		本年度管理会社を通じて階段に滑り止めを設置済み。	賃貸物件のため、改修等難しいところはありますが、バリアフリー化への配慮については、スタッフが気付いたところやご家族からの要望で対応できるところは、迅速に対応していきたいと思えます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	1		月に3回自社研修があるので参加。また地域の連絡協議の研修にも参加。	・知見を広げること、人脈の開拓のため、外部研修への積極的な参加を推奨していきます。
適切な 支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2			保護者にも同じアセスメントツールで評価してもらい、家族と支援者の両方の視点で分析している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2			・個別支援が基本なので、情報交換、情報共有に努めているが、担当者それぞれのアイデアで立案していることが多い。	・個別支援計画策定会議でより活発な議論がなされるよう、計画に対する評価や対象児のアセスメント等、協議に必要な情報の収集に努めたいと思えます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2			・様々な分野を提案している。同じ活動でも視点を変えるなどの工夫をしている。 ・支援を担当するスタッフも、出来るだけ固定化しないよう配慮している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		2		基本的に、平日、休日、長期休暇を問わず、サービス提供時間や個別での支援体制に変化はないため、活動内容や課題に曜日や時期による違いはない。しかしながら学校のスケジュールや季節感には常に意識しており、活動内容に反映させていることも多い。	

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

褒 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	2			基本的に翌日のミーティングで活動の振り返り等行っているが、気になることや新たに気付いた点は随時情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2					
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2				半年で見直しのための面談、モニタリングを実施しているが、(半年を待たず)3か月単位や成長がみられる場合はその都度行なっている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		2			年間行事予定など、ネットから情報を得ている。	当事業所は送迎対応がないことと、コロナ禍もあり学校との関係が希薄。連携とまでいかずとも、情報共有程度の関係性は早々に構築していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2				現状該当者がいないが、ニーズがあれば、医療とも必要な連絡体制を構築する意思があります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2					
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		2				先方からの要請があれば、積極的に協力指定規定と考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2					
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2				
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2					
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2						

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		1	1		通常の支援の送迎時に、活動内容の伝達や子どもの様子に関する情報共有は行っているが、支援技法やファミリーサポート的な議論や意見交換をする場が確保できていません。まずは不定期でも、支援の火とは別に保護者の方々の交流や意見交換を行う機会作りから始めていきたいと思ひます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1			基本報酬等サービス利用にあたっての負担金についての説明は、口頭のみで、文書による提示、説明がなされていません。今後は重要事項説明書に記載していきたいと思ひます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			2		保護者会については、現在開催できていません。次年度は保護者同士の交流や連携をサポートできる機会を作りたいと思ひます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2			苦情があった場合は、苦情受付担当者(所長)に報告し窓口を一本化している。	苦情受付から解決までを迅速化し、誠実な対応で満足いただける対応を目指していきたいと思ひます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2				会報の内容を充実させ、事業所の支援に対する理解を深めるとともに、ご家族の日常に役立つ情報提供に努めていきたいと思ひます。
	35	個人情報に十分注意している	2				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2		事業所の存在を地域に知っていただくための働きかけ、試みを次年度は行っていきたいと思ひます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		2			各種マニュアルを、保護者の方々の目につく所に掲示もしくは設置し、いつでも閲覧できるようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2				

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。